

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

膨張ではなく身の丈に合った成長を追求

土屋 嘉雄 (本社・群馬県伊勢崎市、ベイシアグループ「ワークマン、カインズ等」創業者)

- 2020年10月でグループ売り上げは1兆円に到達しました。ここまで成長できた理由を要約すれば、「継続」「原理原則の徹底追求」「人材の育成」「情報収集と時代への対応」ということに尽きるかと思います。「継続」とは、潰れたりせずに事業を続けるということ。一緒に働いてくれる社員に対する責任、支持してくれるお客様のためにも、会社が継続されなければならないということです。当社の標語に「継続は力」というのがありますが、続けるところから新しい力も生まれてくると思っています。
- これを実現するために、いたずらに規模の拡大を求めず、身の丈に合った成長を守り続ける。そのためにも人を育て、「膨張」ではなく「成長」を追求してきました。そして、広く情報を集め、的確に時代に反応する。いふならば、当たり前のことですが、そのための原理原則を愚直に、徹底的に追求してきました。振り返れば、それがベイシアグループのいちばんの特色であると思います。
- 一方で「1兆円構想」「商業の工業化」「地域格差の解消」といった大きな目標を掲げて自分たちの目指す方向性や社会的な使命を意識づけてきました。

(参考:「週刊東洋経済」2021年1月16日号)

経営者のための危機管理

大手にも及び始めた倒産危機(すし店)

- すし店の倒産が4年ぶりの高水準に。2020年10月、東京商工リサーチがそんなリポートを出した。1~9月の倒産件数は前年同期より8件多い23件。10、11月でさらに6件が加わり、年30件を超える可能性が高まっている。負債総額はリーマン・ショックがあった08年以来12年ぶりに40億円台に乗った。
- 倒産は小・零細規模の事業者が主体だが、大手でも駅ナカやショッピングモールの「寿し常」など約40店舗を展開していた豊田(東京・豊島)が6月に破産を申請。3月に売上高が対前年比40%、4月に同20%と落ち込んだ。観光地も厳しく、流水シーズンに来店客がなかった北海道の花のれん(網走市)などが倒産した。東京商工リサーチは「アイデアだけで生き残れる業界ではないが、メニュー開発など、経験則からの脱皮が必要かもしれない」とみている。

(参考:「日経ビジネス」:2021年1月11日号)

ワンポイント経営アドバイス

経営=マーケティング

高岡 浩三(ケアンドカンパニー代表取締役)

- 経営(management)という言葉は、「人を管理する(manage)」という意味を持って生まれました。しかし、時代の変化に伴い、その言葉の意味するところは「人を使って実績を上げていく」ことだけでなく、「いかにして付加価値をつくるか」というところにまで及んでおり、その重要性はますます高まっています。
- この「いかにして付加価値をつくるか」を考えるときに必要になるものこそ、顧客の課題を発見して解決する「マーケティング」の視点です。そうすると、経営に関する全てのプロセスはマーケティング活動といえるのではないか。その理由から、「経営=マーケティング」である。企業が生き残っていくためには、マーケティング視点で考えられた経営戦略が欠かせない。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2021年1月23日号)

古典に学ぶ

日本の軍隊と美術へ賞讃の辞(ルーズベルト大統領)

(解説) 明治35年(1902年)に初めてアメリカへ行った。ここで時の大統領ルーズベルト氏に面会した。ル氏はしきりに日本の軍隊と美術とについて賞讃の辞を与えられた。日本の兵は勇敢にして軍略に富み、かつ仁愛の情に深く、節制ありて、極めて廉潔である。それは北溝事件の時に、アメリカの軍隊が行動を共にしたによりて、日本の軍隊の善良なるを見て敬服したということであった。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)